

## 上新庄の宝物を探す旅に出よう

対象エリア	坂井市東十郷地区
日時	平成24年7月22日（日） 8:00～16:00
開催場所	上新庄集落センター
対象者（人数）	上新庄地区の住民 参加者29名
主催	福井県
共催	上新庄区子ども会
協力	坂井市 上新庄区
講師	アルマス・バイオコスモス研究所 代表 水上 聡子 氏
ねらい	坂井市坂井町は1,000余年を農村集落として稲作を中心に営んできている。しかし、産業構造や住生活の変化により古き良き農村集落や農家住宅が少なくなってきた。本ワークショップでは、地元集落を探索したり農家住宅を体験したりすることで、今まで気付かなかった農村集落や農家住宅の良さを再発見し、自分たちの暮らしに何か取り入れることができるかを探る。
プログラム	1. アイスブレイク 2. 世界の家を見てみよう 3. むらのお宝探し 4. 昼食 5. 魅力発見マップづくり 6. むらの宝物発表 7. 魅力発見マップの展示（上記1～6とは別日）
準備物	<p>【世界の家を見てみよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン</li> <li>・プロジェクター</li> </ul> <p>【むらのお宝探し】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジカメ</li> <li>・クリップボード</li> <li>・地図</li> <li>・お宝発見シート（住民インタビューをメモするため）</li> <li>・温度計（屋敷林の内外での温度差を測るため）</li> <li>・ブルーシート（チェックポイントのお宅で寝ころぶため）</li> </ul> <p>【魅力発見マップづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・模造紙</li> <li>・地図（模造紙貼り付け用）</li> <li>・ポストイット</li> <li>・プリンター（撮影したデジカメデータを印刷するため）</li> <li>・マジック</li> <li>・筆記用具（参加者持参）</li> <li>・はさみ、のり（参加者持参）</li> </ul>



まず最初に参加者の緊張をほぐすため、アイスブレイクから始めた。今回のアイスブレイクは、誕生日順に並んで輪になってもらい、自己紹介をするというもの。参加者同士で誕生日を聞き合いながら並ぶ必要があるため、お互いのコミュニケーションも自然と取ることができた。



まち歩きを行う前に、スライドショーで世界のいろいろな家を見てもらい、その土地での気候風土に合わせてどのように作られているかや、地元の家との違いなどを考えてもらった。

また、事前に撮影した数枚の集落のスナップ写真を紹介し、探索する上でのいろいろな視点があることを伝えた。

使用教材「世界あちこち ゆかいな家めぐり」



まち歩きをして宝物を探す五感を研ぎ澄ますため、五感ワークを行った。



4グループに分れてまち歩き開始。日頃見慣れている風景でも、宝物を探すという視点でまち歩きをすることで、改めて自分たちの住むところの良さを再確認できた。



まち歩きの途中で、家や庭に入って体感するチェックポイントを2か所設けた。そのうちの1か所が写真の屋敷。屋敷林に覆われているのが特徴。



庭にある大きなタブの木で木登りなどをした。参加した子どもたちは木登りできたことが印象的だったみたいで、「木登りが楽しかった」という感想が多く寄せられた。



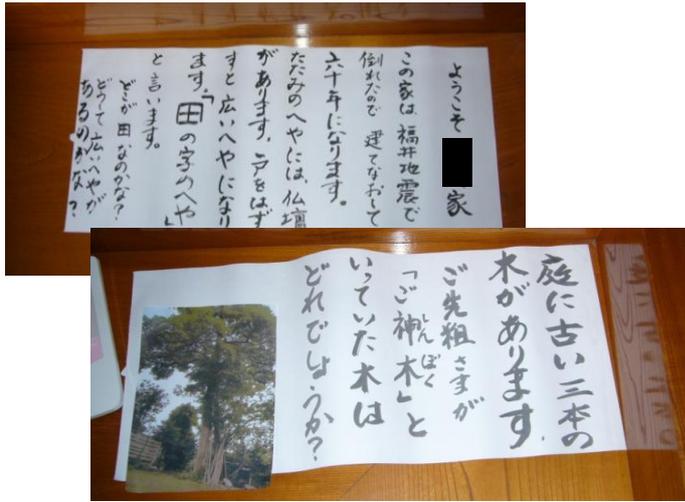
屋敷林に覆われている庭と屋敷林に覆われていない生垣に、温度計を設置した。屋敷林の外では28度だが屋敷林の内では24度で、4度差があった。当日は蒸し暑い日だったが、大きなタブの木に覆われているため太陽の日差しが遮られ、また風が通ると草や木の葉が擦れ合っって音が鳴り、屋敷林のおかげで涼しさを体感することができた。



家の2階から見た田園風景に、子どもたちもおもわず「わあ、きれい」と口にしていった。



もう1つのチェックポイントのお宅にも訪問した。



チェックポイントのお宅の方がご用意された「田の字のへや」「ご神木」を探すミッション。どうして部屋の配置が「田」になっているかなどについて、参加者たちは考えていた。



チェックポイントのお宅の道路沿いには、緑豊かな生垣があり、まち並みが美しかった。



チェックポイント以外でもたくさんの住民の方のご協力をいただいた。ここでは、瓦に家紋が入っていることを聞き出した。



神社で作業をしていた住民の方にも、坂井市の東十郷地区の農業を支えている「十郷用水」の話などを聞くことができた。



まち歩き後、自分たちの住む地区や家でお宝だと感じたものをグループごとにまとめて、魅力発見マップを作成した。



まとめた内容を、参加者の前で発表した。



作成した魅力発見マップを近くのJR丸岡駅舎に掲示して、地区の魅力を他地区の人に向けて発信した。



Aグループの魅力発見マップ



Bグループの魅力発見マップ



Cグループの魅力発見マップ



Dグループの魅力発見マップ

### 参加者の感想

- 地元のことをいろいろ知れて、地元のことを好きになった
- 知っている道や景色をもう一度意識して実際に歩いてみることで、こんなにも得るものがあるのかとびっくりした
- 子どもが知らないことを、大人である自分たちが伝えていきたいと思った
- 庭にある木々の影は涼しくエコに繋がると言われていることが納得でき、庭木の大切さが分かった
- 村の人に声をかけ、コミュニケーションがとれたことが良い思い出になるだろう
- 長い時間を掛けて取り組んで考えなくてはいけないことだけど、みんなが住教育について学ぶと、将来の日本の住まいはとてもいい家になっていくと思う
- こういう取り組み（住教育）があるのを、もっと広くの人に知ってもらいたい